

県央 やまなみ 協議会とは？

県央やまなみ地域が有する素晴らしい資源である丹沢・大山・宮ヶ瀬を軸とした地理的なつながりをいかして、広域的に質の高い行政サービスの提供に向けて取り組むことにより、地域全体の活性化を図り、将来にわたって発展し続ける魅力あふれる地域社会の創造に寄与することを目的としています。



「県央やまなみ地域」を全国に発信



R7.7.7総会

POINT

・協議会で取り組む内容・

協議会では、主に次の項目に取り組み、「強いエリア」「魅力あるエリア」を目指します。

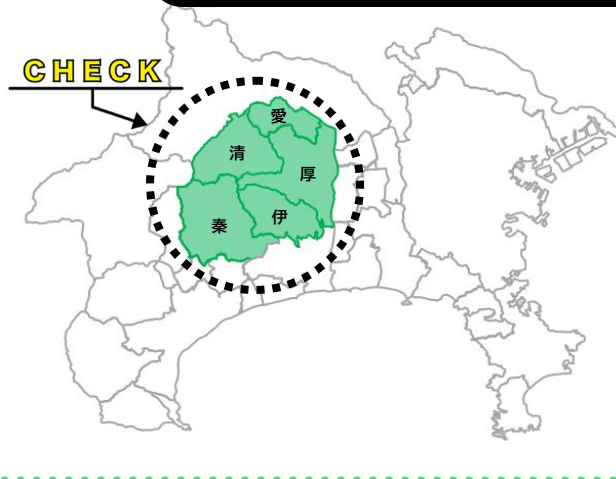
- 広域観光圏の確立及び観光資源のブランド化に関すること。
- 地域高規格道路、県道等の整備促進に関すること。
- 災害対策、人材育成、農業、環境、スポーツ、文化等、様々な分野における行政課題の解決及び行政サービスの向上に関すること。
- デジタル技術の活用及びカーボンニュートラルの実現に向けた調査研究に関すること。
- 前各号に掲げる事項に係る企業等との連携に関すること。



県央やまなみ協議会事務局
厚木市企画部行政経営課
☎(046)225-2160(直通)

厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村で構成する団体(会長は厚木市長)で、5市町村のほか、神奈川県や民間企業、大学等と連携し、各自治体の枠を超えて多様な分野における広域的な取組を進めています。令和6年7月1日に新たに設立しました。

県央やまなみ協議会



協議会の名称には「県央やまなみ」という言葉を使用しています。これは、地域の呼び方を明確にすることで、大山・丹沢・宮ヶ瀬を軸としたエリア一帯のブランド化を図るとともに、エリアとしての発信力を高め、全国からの認知度向上につなげるものです。

また、企業や大学からの意見を踏まえた協議を通じて広域連携を強化することで、これまで以上に地域全体の活性化を図り、将来にわたって発展し続ける魅力あふれる地域社会を創造する推進組織として「協議会」としています。



県央やまなみ協議会のこれまでの活動

神奈川県への要望活動

次に掲げる事項について、毎年、神奈川県に対し要望活動を行っています。

【主な要望事項】

広域観光の推進、水源環境の保全、厚木秦野道路を始めとした高規格幹線道路及び生活道路としての県道の整備促進、地域内のヤマビル対策や鳥獣対策などの環境整備、土砂災害等の防災対策等



令和6年度要望書を提出したときの様子

CHECK



左から、広域観光イラストマップ、ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬スタンプラリー、やまなみ周遊丹沢・大山・宮ヶ瀬・あつぎ温泉郷ドライブプランのチラシ等

5市町村と企業等が連携し、それぞれの自治体を持つ魅力あふれる観光資源をいかし、県央やまなみ地域内の周遊を促進する観光事業を実施しています。

広域観光施策の推進

企業や大学と連携した取組

県央やまなみ協議会は産学公が新たな形で連携することにより、それぞれの持つ強み・ノウハウ等をいかした、より実効性の高い取組を推進します。

企業等の名称	連携した主な取組
小田急電鉄(株)	小田急沿いデジタルアライアンスの促進
神奈川中央交通(株)	エコ通勤デーの促進
中日本高速道路(株)	SA・PAにおける地域連携等
(株)神奈川新聞社	地域の魅力等の発信に関する支援
(株)横浜銀行	脱炭素地域社会の推進
(学)松蔭大学	広域観光事業の推進

鳥獣被害対策の取組

共通課題の共有と広域的なメリットを活用した対策を行うほか、捕獲鳥獣等の有効活用を通じて、地域全体の振興も見据えた広域的対策を実施します。

- 農業被害未然防止対策(職員等の知識、技術促進)の連携
- ニホンザル等の効果的な捕獲に関する取組
- 捕獲者の確保及び充実
- ジビエによる地域振興
- 特定外来生物や大型野生動物対策